

Press Release

2019年8月22日

DSM 株式会社
www.dsmjapan.com

DSM、2019年度上半期決算を発表

ハイライト^{1,2,3}

- DSM、好調な上半期決算を発表
- 2018年第上半期の基本事業の決算との比較：
 - グループ売上は3%増、調整後 EBITDA は12%増（IFRS 第16号による3%の影響を含む）
 - ニュートリション部門：オーガニックの売上は4%増、調整後 EBITDA は13%増（IFRS 第16号による2%の影響を含む）
 - マテリアル部門：オーガニックの売上は6%減、調整後 EBITDA は横ばい（IFRS 第16号による1%の影響を含む）
- 調整済みネット・オペレーティング・フリー・キャッシュフローは前年同期比14%増の2億5,700万ユーロ
- 当期純利益は4億100万ユーロで、業界における例外的な供給の中断を受けたビタミンによる EBITDA への一時的な影響（2億7,500万ユーロ）を調整すると、前年同期比の6億3,300万ユーロから増加
- 中間配当は普通株式1株当たり0.77ユーロ
- 通期業績見通しは据え置き

主要数値及び指標

単位：100万ユーロ	2019年	2018年 上半期			増減（%）				
	上半期	基本事業 1	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計	実質 既存 売上高 ¹	FX 及び その他 ²	実質 成長率 合計	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計
売上高	4,568	4,429	365	4,794	1%	2%	3%	-8%	-5%
ニュートリション部門	3,029	2,840	365	3,205	4%	3%	7%	-12%	-5%
マテリアル部門	1,427	1,492		1,492	-6%	2%	-4%		-4%
調整後 EBITDA	862	771	275	1,046			12%	-30%	-18%
ニュートリション部門	639	564	275	839			13%	-37%	-24%
マテリアル部門	262	261		261			0%		0%
イノベーション部門	11	0		0					
コーポレート部門	-50	-54		-54					
EBITDA	823	754	275	1,029					
調整後 EBITDA マージン	18.9%	17.4%		21.8%					

¹ DSM は 2018 年に一時的なビタミンによる影響から恩恵を受けました。基本事業の業績とは、DSM が可能な限り正確に見積もった一時的なビタミンによる影響を修正した業績指標、売上高および調整後 EBITDA です。

² 調整後 EBITDA は、継続事業の業績を対象とした代替的業績指標（APM）です。

³ DSM は、2019年1月1日に発効した IFRS 第16号を採用しており、2018年の業績の再表明は行っていません。

CEO のコメント

DSM 社 CEO 兼取締役会長 Feike Sijbesma (フェイク・シーベスマ) のコメント：

「困難なマクロ経済環境にもかかわらず良好な上半期決算を達成したことをご報告できることを喜ばしく思います。ニュートリジョン部門を巡る事業環境は引き続き良好で、好調な業績を達成しました。このことは、同事業の革新的な付加価値ソリューション・ポートフォリオの質の高さを示しています。マテリアル部門は、一部のエンドマーケット、特に中国で市場環境の継続的な軟調に直面しました。ダイナーマおよび機能材料事業の業績が引き続き好調だったことに加え、利益率管理が奏功したことから、マテリアル部門の業績は安定しており、底堅さを示しています。

DSM では引き続き、意欲的な 2021 年戦略計画目標を達成する態勢が整っています。この態勢は、ニュートリジョン、健康、持続可能な生活の分野における目的主導で実績重視の企業となるとのコミットメントに支えられています。通期業績見通しは据え置きます。」

第 2 四半期のハイライト^{1, 2, 3}

- DSM、今期も好調な四半期決算を発表
- 2018 年第 2 四半期の基本事業の決算との比較：
 - グループ売上は 3%増、調整後 EBITDA は 10%増 (IFRS 第 16 号による 3%の影響を含む)
 - ニュートリジョン部門：オーガニックの売上は 4%増、調整後 EBITDA は 13%増 (IFRS 第 16 号による 3%の影響を含む)
 - マテリアル部門：オーガニックの売上は 7%減、調整後 EBITDA は横ばい (IFRS 第 16 号による 1%の影響を含む)

主要数値及び指標

単位：100万ユーロ	2019 年 第2四半期	2018年第2四半期			増減 (%)				
		基本事業 1	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計	実質既存 売上高 1	FX及び その他2	実質成長 率合計 1	一時的な ビタミンの 影響	グループ 合計
売上高	2,276	2,214	145	2,359	1%	2%	3%	-7%	-4%
ニュートリジョン部門	1,512	1,410	145	1,555	4%	3%	7%	-10%	-3%
マテリアル部門	710	754		754	-7%	1%	-6%		-6%
調整後EBITDA	438	398	110	508			10%	-24%	-14%
ニュートリジョン部門	323	287	110	397			13%	-32%	-19%
マテリアル部門	135	135		135			0%		0%
イノベーション部門	5	1		1					
コーポレート部門	-25	-25		-25					
EBITDA	407	393	110	503					
調整後EBITDAマージン	19.2%	18.0%		21.5%					

¹ DSM は 2018 年に一時的なビタミンによる影響から恩恵を受けました。基本事業の業績とは、DSM が可能な限り正確に見積もった一時的なビタミンによる影響を修正した業績指標、売上高および調整後 EBITDA です。

² 調整後 EBITDA は、継続事業の業績を対象とした代替的業績指標 (APM) です。

³ DSM は、2019 年 1 月 1 日に発効した IFRS 第 16 号を採用しており、2018 年の業績の再表明は行っていません。

2019 年業績見通し

DSM は 2019 年第 1 四半期決算発表の時点で発表した通期見通しを据え置きます。2019 年通期の業績見通しでは、前年度の基本事業の調整後 EBITDA（一時的なビタミンの影響前）に対し 1 桁後半の調整後 EBITDA の成長と、2021 年戦略計画目標に沿った調整済みネット・オペレーティング・フリー・キャッシュフローの改善を見込んでいます。この見通しは、IFRS 第 16 号の影響を考慮していない点にご注意ください。

DSM - Bright Science. Brighter Living.™

Royal DSM は、栄養、健康、持続可能な暮らしの分野において意欲的に事業を展開する目的主導型のグローバル企業です。DSM は、すべての人々の生活を豊かにすることを目指しています。利害関係者の皆様、すなわちお客様、社員、株主の皆様、そして社会全体に対して経済的、環境的、社会的価値を創出しつつ、自社の製品とソリューションを駆使し、世界で最も重大な課題の解決に取り組んでいます。DSM は、食品や栄養補助食品、飼料、パーソナルケアおよびアロマ、医療機器、環境に配慮した製品および用途、新たなモビリティとコネクティビティの分野において革新的なソリューションを提供します。DSM および関連会社の年間の純売上高はおよそ 100 億ユーロで、社員数は約 2 万 3,000 名です。1902 年に設立された DSM は、Euronext Amsterdam に上場しています。詳細は www.dsm.com をご覧ください。

* 本リリースは 2019 年 8 月 1 日に DSM 社から発表されたプレスリリースを抄訳したものです。

本リリースに関するお問合せ先

DSM (株) 広報事務局 (アズ・ワールドコム ジャパン株式会社内) 担当: 水谷、中里
TEL : 03-5575-3221 / e-mail : atsutake@azw.co.jp (水谷)、kaoru@azw.co.jp (中里)
DSM 株式会社 担当: 龍、大木
TEL : 03-5404-8336 / e-mail : Shintaro.Ryu@dsm.com (龍)、Nahoko.ohki@dsm.com (大木)